



巻頭言

「グローバル人材育成」はグローバル感覚を持って地域(ローカル)に貢献できる人材を育成するということで、第3期中期目標・中期計画において実施する香川大学の改革の大きな目標のひとつです。香川大学インターナショナルオフィス(Kagawa University International Office: KUIO)は、その実現のために、香川大学のグローバル化を推進するとともに地域との連携を深めるべく、留学生の受け入れや日本人学生の派遣の推進、キャンパスのグローバル環境作り、国際共同研究の推進、地域の国際活動の推進などに関わる業務を担当しています。

「4アンド1プラン」は香川大学のグローバル化を象徴した目標です。平成25年にスタートし、平成35年までに、年間の留学生受け入れ400人、日本人学生の中長期派遣100人を目指すプログラムです。平成25年度の受け入れ留学生数は243人でしたが、平成27年度には267人となり、平成28年は10月1日現在ですでに247人と順調に増加しています。また、日本人学生の海外派遣は、短期派遣も含めると平成25年度で239人(うち3か月以上17人)でしたが、平成27年度には281人(同42人)と順調に増加しつつあります。これをさらに推進すべく、全学体制を構築するとともに、80以上ある協定校との関係性を強化します。また留学生受け入れのための「さぬきプログラム Ver.2」や、派遣のための「Exploreプログラム」の拡大・強化など、新しい魅力的なプログラムの開発・改良を目指しています。

留学生と日常に交流でき、海外に出ていく魅力を感じ、海外学習に対する敷居を低くできるようなキャンパス環境作りでは、平成26年6月に幸町キャンパスに完成したオリーブスクエア2階にオープンしたイングリッシュカフェが大きな役割を果たしています。留学生や日本人学生が集いネイティブ教員の協力・指導のもと自主的に英語などの外国語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高めることに役立っています。また、平成28年4月には、留学生と日本人学生が共同して居住(混住)する中で、グローバル感覚の涵養に資する目的で、香川大学上之町国際寮(24室、48人定員) International House Oliveを高松市上之町にオープンしました。今後のグローバル人材育成のための巣となり、ここから次々と巣立ってくれることを期待しています。

インターナショナルオフィスの活動は、皆様方に支えられて成り立っています。自治体や政府の諸機関・諸団体、地域の国際交流団体、ホームステイ先のご家族など、多くの団体・個人に協力をいただいております。厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも更なるご理解とご協力をよろしく願います。

(インターナショナルオフィス長 徳田雅明)

<国際交流活性化の推進>

学術交流協定締結調印

- 2016年 9月 6日 本学とチェンマイ大学との学術交流に関する一般的覚書の再締結
2016年 9月 12日 本学とサバア・モンブラン大学とのオープンレクチャーに関する実施細則の更新
2016年 10月 25日 リモージュ大学高等工学院と本学工学部及び大学院工学研究科のオープンレクチャー試行のための細則の更新
2016年 11月 15日 本学とメチョー大学との学術交流協定等の更新
2016年 12月 19日 本学経済学部及び大学院経済学研究科と国立政治大学社会科学学院との研究教育交流に関する実施細則の締結
2016年 12月 19日 本学工学部及び大学院工学研究科と宝鷄文理学院化学化工学院との学術交流協定等の更新
2017年 1月 20日 本学工学部及び大学院工学研究科と北京師範大学化学学院との学術交流協定等の更新
2017年 1月 20日 本学及び大学院工学研究科と長春理工大学との学術交流協定等の更新

学生等によるインターナショナルオフィス表敬訪問



マレーシア・プトラ大学

10月3日(月)、プトラ大学のSoh Kim Lam 看護部門長、Salimah Japar 講師が、本学インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。約1時間半の意見交換では、お互いの大学紹介のあと、教職員や学生の交流、共同研究の可能性について話し合われました。



コロラド州立大学

1月23日(月)、学術交流協定校であるコロラド州立大学から、James A.Cooney副学長(国際交流担当)が来学し、本学インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。意見交換は、お互いの大学の状況説明のあと、両大学が更なる交流を促進するためのプログラムの内容や方向性等について活発に議論がなされ、本学にとって、実り多いものとなりました。

第5回国立嘉義大学(台湾)・香川大学合同ワークショップ成果報告会を開催

1月17日(火)、インターナショナルオフィスでは、第5回国立嘉義大学・香川大学合同ワークショップ成果報告会を開催しました。

2016年11月27日～29日、本学の学術交流協定校である台湾にある国立嘉義大学において、本学教育学部を主管として、「第5回国立嘉義大学・香川大学合同ワークショップ」を開催し、12名の学生・大学院生を含む25名が参加しました。

この成果を広く学内に周知し、両大学の交流をさらに深めていく目的のため、この度、成果報告会を開催したものです。

当日は、まず、徳田副学長から開会の挨拶の後、第1部「ワークショップ報告会」と題して、参加した教員から、ワークショップの概要や交流の展望について、報告がありました。

続いて、第2部「学生交流成果報告会」と題して、参加した学生、大学院生から学生交流の成果等について、報告がありました。

発表を行った、特に学生の多くから、有意義で充実したワークショップであったとの意見があり、今後、研究交流のみならず、さらに学生交流も活発に行われることが期待できます。

(国際グループ 上田幸司)



平成29年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)申請プログラムの採択

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の平成 29 年度海外留学支援制度に 8 プログラム、2,827 万円分の奨学金が採択されました。この奨学金は返還不要で、成績や家計基準等の要件を満たすプログラム参加者（外国人学生及び日本人学生）に対し、派遣地域に応じて月額 6 ～ 10 万円が支給されます。

・採択プログラム（協定派遣）

グローバルな視点を有し地域貢献を担う人材育成を基盤に学校教育教員資質向上を目指した AAE 異文化交流短期派遣プログラム（申請部局：教育学部）、複線型グローバル教育プログラム（申請部局：法・経学部）、医学・看護学における自己啓発的グローバルディスカバリープログラム（申請部局：医学部）、国際インターンシップを活用したグローバルエンジニア育成プログラム（派遣）（申請部局：工学部）、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム（申請部局：農学部）、香川大学グローバル人材育成（派遣）プログラム（申請部局：インターナショナルオフィス）

・採択プログラム（協定受入）

香川で学ぶ、アジア共通の健康課題解決への分野融合型アプローチ（申請部局：医学部）、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム（申請部局：農学部）

（国際グループ 福家徹也）

<学生対象行事>

平成28年度10月期新入外国人留学生ガイダンス

平成 28 年 10 月 8 日（土）、新入外国人留学生ガイダンスを教育学部 415 教室にて実施しました。今回参加した新入留学生は 45 名で、そのサポーター・チューターを務める日本人学生や先輩留学生も参加しました。全員で高松北署の警察官による法令遵守や自転車マナーに関する説明を受けた後、後半は 2 会場に分かれ、留学生センター教員による生活面・学業面に関する説明が、会場別にそれぞれ日本語と英語で行われました。これらと前後して、留学生の寮に関するガイダンスも実施して、利用上の注意事項などを説明しています。



ガイダンスの様子

ガイダンス終了後は、引き続きオリーブスクエアにて歓迎パーティーを開催しました。地域の方々や上記以外の在生も参加し、総勢 130 名になりました。パーティーの中では新入留学生が抱負等を語り、交流を深めることができました。皆様のご協力・ご支援のおかげで、新入留学生たちは明るく本学での新生活をスタートさせることができました。

（インターナショナルオフィス 高水 徹）



歓迎パーティーの記念撮影

平成28年度秋期さめきプログラム開講式

平成 28 年 10 月、留学生センター留学生として、さめきプログラム 5 期生 1 名（ブルネイ）が入学し、平成 28 年 10 月 5 日（水）に開講式を行いました。さめきプログラムは半年（1 学期）のプログラムで、学生は日本語の基礎から学びと共に、英語で行われる日本事情の授業を受け、各自で決めたテーマのもと、香川に関する英語の修了レポートを作成して修了となります。今回は、ABE イニシアチブにより経済学研究科に来て学ぶ学生たちも開講式に参加してくれました。それぞれが爽り多い留学生生活を過ごすことを願い、我々も学業・生活両面からサポートしていきます。

（インターナショナルオフィス 高水 徹）



開講式の記念撮影

課外教育行事(第1回)丸亀市内において実施

香川県及び本学に在学する留学生に本県のいろいろな魅力を発見し理解を深めていただくために、県と共に視察ツアー（第1回）を丸亀市内にて実施しました。

平成28年11月5日(土曜日)に本学他12か国・地域37名(インドネシア、韓国、台湾、中国、ドイツ、バングラデシュ、フィリピン、ブルネイ、ブルンジ、ベトナム、マレーシア、南アフリカ共和国)の留学生が参加しました。晴天の中、丸亀城視察(丸亀城鉄砲隊による砲術演武披露)、クリントピア丸亀(ごみのリサイクル処理施設)視察、うちの港ミュージアムでうちわ作り体験、中津万象園視察、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館視察を実施し、留学生が香川の魅力を堪能しました。

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)



うちの港ミュージアムにて



中津万象園での集合写真

さめきプログラム修了式

平成29年2月1日(水)、秋期さめきプログラム修了式を実施しました。修了生は、ブルネイ・ダルサラーム大学からのChong Kok Kinさんです。修了生は、平成28年10月から日本語や日本の文化を学び、その成果を英語によるプレゼンテーションで披露しました。香川県の特産に焦点を当てた発表で、今後の産業のあり方などにも言及した、素晴らしいものでした。修了証書が授与されました。今回も仏生山国際交流会の皆様にご協力いただき、修了生は着物を着て式に臨むことができました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



終了証書授与

さよならパーティー

平成29年2月1日(水)、上記修了式の後、様々な形での留学を終え、帰国する学生たちのための意見交換会(通称さよならパーティー)を実施しました。お忙しい中、学外からも多数の皆様がお越しになり、学生にとっては期末テスト直前の時期でしたが、卒業・修了生たちとのひとときを楽しみました。留学生たちが帰国に際しての様々なメッセージを発表しました。香川大学を離れる皆さんも、残る皆さんも、ご活躍をお祈りしております。パーティーの様子は、留学生センターのFacebook等でも発信しています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



パーティーの記念撮影

平成28年度冬季危機管理セミナーを開催

平成29年2月16日(木)、平成28年度冬季危機管理セミナーを開催しました。本セミナーでは、今春に海外渡航を予定している学生、引率教職員を主対象として、海外へ渡航する際のリスクとその回避方法等について専門的知見を有する講師から講演を行うもので、全キャンパスで約100名が参加しました。

ロン留学生センター長から開会の挨拶の後、J&Jヒューマンソリューションズ社の斎木 智香子氏から「海外研修/留学生のための海外リスクマネジメント」の演題で講演がありました。国・地域別に特に発生しうるリスクを最新の事例と共に紹介していただいたことで、参加した学生からは「事例紹介が多く、具体的な対処方法が分かり勉強になった」等の感想がありました。

今後も本学の学生及び教職員の海外渡航における危機管理意識の向上を目指し、定期的にセミナーを開催する予定です。

(国際グループ 福家徹也)



J&Jヒューマンソリューションズ社の
斎木氏による講演



国・地域ごとの渡航リスクについての説明

<外国人留学生への就職支援>

留学生就職活動準備セミナー

平成28年10月30日(金)、留学生就職活動準備セミナーを実施しました。準備のための本セミナーでは、日本企業に内定した先輩留学生による就活体験談(経済学研究科 張丹丹)、接客マナーや食事マナーを実践する日本文化基礎講座(教育学部 加藤みゆき教授)、日本における就職活動について(マイナビ担当者 坂田 隆氏)の3つの内容を学ぶことができました。日本式の一斉採用自体に馴染みのない留学生にとっては、徐々にステップを踏んで理解していくことが大切であると我々スタッフは考えています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



先輩の体験談紹介の様子



食事マナー実践の様子

留学生採用支援セミナー&交流会

平成28年11月14日(月)、留学生採用支援セミナーおよび交流会を実施しました。今回は初めて百十四銀行と共催の形で実施することができました。第1部『留学生採用の意義とマネジメントについて』では、株式会社フォーバル 海外ディビジョン副ディビジョンヘッド 神山 英生氏に、第2部『当社の留学生採用のねらい』では、株式会社イナダ 代表取締役社長 稲田 覚氏に、それぞれお話いただきました。いずれも、非常に具体的なご経験や、それに基づくあり方などについて、示唆に富むご講演でした。第3部の交流会では、企業の皆様と学生たちの具体的な情報交換をすることができました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



稲田氏の講演の様子



交流会の様子

企業見学会

平成29年1月13日(金)、企業見学会を実施しました。これは、県内企業を見学することで日本をよりよく理解し、就職後の自らのワークスタイルを考える契機とすることを目的に実施したものです。今年度は、留学生の採用実績がある株式会社タダノ志度工場を訪問しました。人事担当者から企業の説明を受け、経営方法を学ぶとともに、工場を見学し、品質や安全管理の姿勢や取組について学びました。

(国際グループ 浅野文恵)



集合写真

ビジネスマナー講座

平成29年2月17日(金)、ビジネスマナー講座を実施しました。本講座は、インターナショナルオフィスによる就職支援の一環として、ビジネスマナーの基礎を留学生に学んでもらうために実施しました。講師には、株式会社マイナビ 四国キャリアサポート課 大久保 淳氏をお招きしました。服装、お辞儀も含め、非常に具体的に学ぶことができました。日本式の一斉採用もビジネスマナーも珍しいという状態である留学生にとっては、貴重な機会となったことと思います。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



お辞儀の練習

<インターナショナルウィーク>

平成28年度インターナショナルウィークの報告

昨年度につづき、今年は2回目として実施しました。目的は、本学における国際交流活動の取り組みを広く学生へ周知すると共に、また、海外留学に関する講演会や学生主体のイベント、パネル展示などを実施し、学生の留学への参加を促進することです。開催期間は、12月3日(土)～12月10日(土)でした。各取り組みは、以下のとおりでした。

(インターナショナルオフィス ロン リム)

1) 「2016年 外国人学生かがわホームビジット」(香川県留学生等国際交流連絡協議会主催)

内容：県内、複数の教育機関で在学中の留学生が日本人の家庭へ訪問して、交流しました。

2) パネル展示

内容：学内複数の会場で、学術交流協定校、海外研修プログラム、インターナショナルオフィス及び各部局の取り組み等をパネルなどで紹介しました。

3) 学長主催外国人留学生交歓会

外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会を12月6日(火)にホテルパールガーデンにおいて開催し、275名が参加しました。

交歓会は、工学部4年のMuhammad Zafri Bin Zamzuri(ザフリ)さん、経済学部4年Nguyen Thi Ha Phuong(ハー)さんの司会進行のもと、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の経済学部3年 叢 賽(ソウサイ)さんの挨拶、徳田副学長(国際戦略・特命担当)による乾杯の音頭で開始されました。また、中国、ベトナム、タイからの留学生によるダンスが披露され、大いに盛り上がりました。

最後にロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願います。



学長挨拶



学長と司会者



中国学生のダンス



ベトナム学生のダンス



タイ学生のダンス

4) 留学ラウンドテーブル

内容：昨年に続き、今年は2回目の実施です。12月7日(水)に二部体制で実施しました。第1部は、留学・研修先(協定校)の紹介(トビタテ含む)で留学経験者。留学生が自身の経験を基に「留学」について語り合いました。第2部は交流会で、第1部の発表者や参加者同士、ざっくばらんな意見交換を行い、留学に対するイメージを具体化し興味関心を高めました。



第1部 質疑応答の様子



第2部 交流会の様子

- 5) 「アフリカ地域村落飲料水管理（B）英語」コース第3弾 アクションプラン発表会（JICA 主催）
 内容：アフリカ 12 か国の行政官が研修成果を踏まえ、帰国後の活動計画について発表する。
 講師：ウガンダ、エチオピア、ガンビア、ケニア、ザンビア、ジンバブエ、スーダン、ソマリア、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ、ルワンダからの JICA 研修員（地方／村落給水を担当する行政官）
- 6) 各部局による海外留学ガイダンス等
 場所：工学部、農学部キャンパス
- 7) その他関連行事
 JICA 主催「アフリカ地域村落飲料水管理（B）英語」コース
 第1弾 カントリーレポート発表会
 第2弾 講義「水系感染症総論」、「アフリカ部落給水の衛生・水質管理と健康」
 会場：オリーブスクエア 2 階 教職員ラウンジ

〈協議会としての活動〉

平成28年度作文コンテストと活動報告

香川県留学生等連絡協議会の主催で、第13回作文コンテストを実施しました。対象は香川県内の高等教育機関で在籍している留学生です。テーマは「母国の人に紹介したい香川の良さ」と「私の国と日本の交流：今までとこれから」のいずれかでした。応募者数は29名で、出身地は、インドネシアやネパール、アルゼンチン、ベトナムなど、多数でした。優秀賞や佳作賞を含めて、受賞者は11名でした。受賞者の中、7名はステージに上がって、懇談式で、それぞれの作品や思いを語ってくれました。

（インターナショナルオフィス ロン リム）



集合写真

<外国人留学生リクルーティング活動>

平成29年2月11日(土)、12日(日)の2日間に渡り、ブルネイ・ダルサラーム国におけるHigher Education Expoに参加しました。元々国内の教育機関のための展示イベントでしたが、今年度から外国の大学も参加できるようになり、本学からはインターナショナルオフィスから高水が、国際グループから長竹リーダーが参加しました。ブースには約100名と非常に多くの訪問者があり、入試制度や本学の学部の構成などについて、熱心に質問していました。今後の本学への留学につながってくれることを期待しています。

同10日(金)および13日(月)には、日本大使館を訪問し、伊岐特命全権大使にお会いすることもでき、貴重な情報交換の場となりました。特に、本学を含む日本の大学における同国からの留学生受け入れが話題になりました。また、本学が海外における拠点大学としてブルネイ・ダルサラーム大学も訪問し、主に学生交流の具体的な点について話し合いました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

<他機関との連携活動>

【JICA研修】「アフリカ地域村落飲料水管理」

～濁水県香川の飲料水管理技術をアフリカに活かす～香川大学が協力

アフリカの農村地域では、安全な水に十分にアクセスできない住民が多くいます。本研修では、村落給水を担当するアフリカ11カ国(ウガンダ、エチオピア、ガンビア、ケニア、ザンビア、ジンバブエ、スーダン、ソマリア、マラウイ、ルワンダ、タンザニア)14名の行政官が、限りある水資源を飲料水として適切に衛生管理し住民に安定供給する方策について、瀬戸内海式気候で日本で最も降雨量が少なく、長年にわたり濁水に悩まされている地域のために濁水対策や効率的な水利用に積極的に取り組んでいる香川県を中心に2016年11月3日(木)から12月10日(土)まで研修をしました。

本学教員による講義、香川県や高松市といった地方自治体による講義をはじめ、浄水場や簡易水道の視察、住民主体の水管理組合との意見交換などを通じて、日本の知見・経験から、研修員それぞれが自国の給水施設の維持管理に関する課題を整理するとともに、村落地域における飲料水供給の改善に向けた具体的な行動計画を作成しました。帰国後に本研修の成果を活用することで、アフリカ各国の農村地域の人々に安全な水がより届くようになることが期待されます。

平成28年度JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)に香川大学協力案件が採択

本学が香川県と協力して提案した「カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健室体制の構築プロジェクト(2017～2019)」が平成28年度JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)に正式採択されました。平成28年末政府間協定(ミニッツ)調印がカンボジア教育省長官をはじめ長尾学長が署名されました。

このプロジェクトの目標は、①学校保健モデルを通じて学校保健指導者が育成され、②カンダルスタン郡小学校全校で衛生教育向上活動する実施体制が構築し、③カンダール州内に学校保健衛生モデル(保健室)が周知されることです。

具体的な活動内容は、

1. 保健指導が行えるブロックリーダー校5校を設置
2. 学校保健指導者育成のための研修会の開催(24名の行政官・教員が来日研修、前後10回セミナー、郡全体への公開セミナー9回)
3. モデルトイレ・手洗い場・貯水槽の香川大学モデルの設置(幼小モデル1校)
4. 学校の教育カリキュラムに、衛生向上のための衛生教育を組み込む(教科書・教員授業案手引き、保健便りなどの作成)
5. カンダール州全372小学校にニュースレター等を配布

予算額は、3年間で約6000万円の予定です。このプロジェクトの総責任者(プロジェクトマネージャー)は、清水裕子教授(香川大学医学部慢性期成人看護学)、現地での実施者は、楠川富子看護師(NGOうどんハウス代表)になります。協力機関は、香川大学(医学部、農学部、教育学部、附属学校、インターナショナルオフィス)、香川県、JICAカンボジア・四国で協力して実施します。

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)

〈ネイティブ教員による活動〉

This past semester, a new class was offered at the English café. The class, called Daily English, was held weekly and focused on English phrases used in everyday conversation. Attendance was voluntary and any student at any level were welcomed to join. Each session incorporated discussion, pronunciation practice and writing practice. It also included games and activities and created an atmosphere motivating students to further improve their language abilities.

In addition, there was a practice presentation session in January for students participating in UNGL (University Network for Global Leadership). Students will be in Saipan from late February to March to teach classes at local primary and secondary schools to promote a friendly relationship with Japan. Presentations were in English and Native English Instructors audited the presentations and gave feedback to the students.

(インターナショナルオフィス 町原友梨)



As an English Teacher that spends the majority of my time in the English Café, I am involved in a lot of activities and events that occur there. Things have recently wound down for the year to allow students time to focus on upcoming final exams, but it had been a pretty busy semester until now. I took part in or hosted workshops, competitions and parties.

Most recently, we had a Farewell Party for departing international students and graduating seniors. The event was organized by the Volunteer Staff from the English Café and included games, speeches and photo cards with goodbye messages for those moving on. Other similar events that took place this semester include the Christmas Party in December where students played games in order to win small prizes.



On the more competitive side, Kagawa University students also took part in two contests. The Second Annual Kagawa University Presentation contest took place in December and featured a number of wonderful speakers. Professors Kumagai, McCrohan and Willey judged the presentations along with Vice-Presidents Tokuda and Kakehi.

A second contest was organized by the Student English Cooperative with help from the English Speaking Society. The two groups arranged a debate between 4 members of each group. Held in the English Café and judged by myself, it was an impressive step by students working hard to improve their English communication skills.

Lastly, there were a number of workshops the other Native Teachers and I conducted at the English Café. Some of the most popular ones were Travel English, Discussion, Let's Speak and Daily English. There were also workshops focused on Public Speaking, TOEFL Test preparation, Free Conversation and more.



While events have concluded for this year, students are still welcome to come by and work with Native Teachers in the English Café through the Spring Holiday. Keep an eye out for the workshops and activities that will start again with the new school year in April.

(インターナショナルオフィス サミュエル ジェイガー)

留学生の声



Chong Kok Kinさん(ブルネイ・ダルサラーム)

Greetings from Brunei Darussalam! My name is Nathan! I was blessed with such great opportunity to be part of the Kagawa University even though I was only here for like four and a half months and I really enjoyed my stay here in Takamatsu, Kagawa. Why you may ask? I guess part of the reasons could be the people of Takamatsu and also the people that I met while I was in Kagawa University but I will get to the details later. When I first got to know the existence of Kagawa University was actually four years ago when five Kagawa University's exchange students came to Brunei for a short exchange. We became very close and that's when I decided that I have to strive myself to go to

Kagawa University regardless. Truth to be told, I really did not had any major problems during my exchange in Kagawa University and I really enjoyed blending into the city of Takamatsu. People are kind and very helpful indeed when you need help or even when you need to ask for directions and when it comes to food, there is no doubt that Kagawa is famous for Udon because it really deserves all the praises I read. I enjoyed my time studying and advancing my Japanese language here in Kagawa University; all of my teachers are blessed with great personalities and I really had a lot of fun in my lessons. Of course, I was not the only exchange student here in Kagawa University and making friends with other exchange students such as from Germany or from Senegal felt like I could get in touch with the globe. I guess that the best platform to make friends is actually the Student Lounge of the university where students are able relax and do whatever they like. Naturally, great memories were made and my deepest regret is probably to not to be able to stay for a year in Takamatsu, Kagawa. Finally, I wish all my friends that I made in Kagawa, the brightest future ahead of them and shine brightly like the Sun. Stay in touch! With utmost sincere, Nathan.



Kevin Quetschさん(ドイツ)

First of all I have to say that I felt really welcomed in Kagawa and especially at Kagawa University. Having been nervous at first, the nervousness quickly disappeared when in the first week of lectures some students approached me, showed interest and started conversations. This also strengthened my confidence in starting conversations with Japanese students who sometimes tend to be a bit shy and afraid their English speaking ability is not good enough for talking to a foreign student, but once they see one is trying to speak Japanese they start to open up. This was also the case concerning the Monday Events. The university's International Group hosted the so-called 'Lunch Presentations' every Monday during the lunchbreak. Every week another exchange student or one of the Japanese students, who participated, presented a topic of their own choice in English to the audience. After the presentations there was always enough time to ask questions and to exchange thoughts or opinions about the presented topics or things in general. I participated regularly and also held a presentation about my home country Germany. In my opinion the lunch presentations provide a very good opportunity to learn about other countries and cultures, as many people like to introduce their home countries and I really enjoyed talking to both, the other exchange students as well as the Japanese students.

インターナショナルオフィスからのお知らせ

- 平成29年1月16日(月)より香川地域活性化グローバル人材育成プログラム第7期派遣留学生を募集開始しました。詳細は香川地域人材育成コース協議会HP (<http://tobitate.kuio.kagawa-u.ac.jp/>)をご覧ください。
- ブルネイ・ダルサラーム大学、チェンマイ大学に1学期間、又は2学期間交換留学をするEXPLORの平成29年度交換留学生を募集中です。詳細はhttp://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/ をご覧下さい。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第15号 2017年(平成29年).3.31

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>